

氏名 _____

東京芸術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻システム保存学

平成 25 年度修士課程入学試験（英語）

- * 以下に、問 1 から問 4 まで、4 つの問題がある。指示に従って答えよ。
- * 答えは解答用紙に、問い番号とともに記入せよ。

問 1 以下の文章を和訳せよ。

著作権の関係により、本文を掲載していません。

[Shigenobu HANZAWA: Design of Display Case for Cultural Properties, International Symposium on the Conservation and Restoration of Cultural Property: Cultural Property and Its Environment, p.131 (1995)]

問2 下記の文章を読み、以下の問いに答えよ。

著作権の関係により、本文を掲載していません。

[Yoshitaka ARIGA: The Study of Fine-Arts History and the Newest Scientific Method, The 28th International Symposium on the Conservation and Restoration of Cultural Property: Non-destructive Examination of Cultural Objects- Recent Advances in X-ray Analysis-, p.14 (2006)]

- (1) 下線 (1) を訳せ。
- (2) 下線 (2) を訳せ。
- (3) 美術史研究者は科学的に得られた結果に対してどのように対処すべきと著者は考えているか、100字程度でまとめなさい。

問3 以下の文を読み、以下の問いに答えよ。

著作権の関係により、本文を掲載していません。

[Yoshimichi EMOTO: Disintegration Products from Relics and Sites, International Symposium on the Conservation and Restoration of Cultural Property-Cultural Property and Analytical Chemistry, p.159 (1979)]

- (1) 地中の遺物を発掘すると遺物は傷みはじめるが、上記の文に従って、その理由について、50字程度で記せ。
- (2) 収蔵庫に収納している中で遺物が痛む原因について、上記の文から2つ指摘せよ。
- (3) 下線 (3) について、文中に書かれているメカニズムについて50字程度で記せ。

問4 以下の文を読み、以下の問いに答えよ。

著作権の関係により、本文を掲載していません。

[Shunsuke NAKAYAMA: Conservation and Restoration of Concrete Structures, Conservation and Restoration of Concrete Structures, p.18-19 (2012)]

- (1) 遺跡を公開する理由を、上記の文に従って書きなさい。
- (2) 観光化が進むと遺跡はどのように変容していくと述べられているか。
- (3) 近代の文化遺産を守っていくためには何が重要だと述べられているか。150字程度で答えなさい。

東京芸術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻システム保存学

平成 25 年度修士課程入学試験（基礎）

- * 問 1 から問 2 まで、各 6 つの問題がある。指示に従って答えよ。
- * 答えは解答用紙に、問い番号、項目番号、（選択問題の場合は選択した用語）とともに記入せよ。

問1 1～6 の各項目につき、(a)～(c)の中から 1 題を選び、100 字程度で説明せよ。

- | | | |
|----------------|--------------|------------|
| 1. (a) 鉱物 | (b) 反射率 | (c) 金属 |
| 2. (a) 光沢度 | (b) ガラス | (c) 赤外分光分析 |
| 3. (a) 含水率 | (b) X 線 | (c) 凍結破砕 |
| 4. (a) X 線回折分析 | (b) 蛍光 X 線分析 | (c) 色差 |
| 5. (a) 塩類風化 | (b) 紫外線 | (c) 中性化 |
| 6. (a) 赤外線 | (b) 飽和度 | (c) 透水係数 |

問2 1～6 の各項目につき、(a)～(c)の 3 つの言葉を組み合わせて、文章を作れ。(100 字程度)

- | | | |
|---------------|------------|------------|
| 1. (a) 大気汚染物質 | (b) 酸性雨 | (c) 越境汚染 |
| 2. (a) オゾン層破壊 | (b) 温室効果ガス | (c) 地球温暖化 |
| 3. (a) 制限要因 | (b) 相対湿度 | (c) 絶対湿度 |
| 4. (a) たたら | (b) 焼きなまし | (c) 焼入れ |
| 5. (a) 薄片 | (b) 偏光顕微鏡 | (c) 屈折率 |
| 6. (a) 応力歪み曲線 | (b) 脆性破壊 | (c) コンクリート |

氏名 _____

東京芸術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻システム保存学

平成 25 年度修士課程入学試験（小論文）

以下の文章は文化財保存修復学会の行動規範です。文化財を対象に自然科学的な手法で調査研究するシステム保存学として、守るべき倫理規定と言えます。文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

著作権の関係により、本文を掲載していません。

[文化財保存修復学会: 文化財の保存にたずさわる人のための行動規範,
(http://jsccp.or.jp/abstract/regulate_08.html)]

<設問>

文化財は保存と公開の両立が求められますが、保存と公開は相反する面も持ち合わせています。また文化財の価値づけに調査研究は欠かせないものですが、同様に保存上、好ましくない場合もあり得ます。

具体的な文化財の種別を想定し、その保存と公開の、あるいは保存と調査の問題点を指摘し、どのように克服するか、あなたなりのアイデアを、そう考えるに至った論拠を示して、1000字程度にまとめなさい。

* 答えは、解答用紙に記入せよ。

東京芸術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻システム保存学

平成 25 年度修士課程入学試験（専門）

- * 次に問 1 から問 3 までの問題がある。指示に従って答えよ。
- * 答えは問い番号、項目番号、（選択する場合は選択した用語）とともに、解答用紙に記入せよ。

問 1 1～5 の各項目について、(a)～(c)から 1 題を選び、100 字程度で説明せよ。

- | | | |
|-----------------|------------------|------------|
| 1. (a)登録文化財 | (b)ジオパーク | (c)近代化産業遺産 |
| 2. (a)糖アルコール処理 | (b)ポリエチレングリコール処理 | (c)真空凍結乾燥 |
| 3. (a)遺構の剥ぎ取り保存 | (b)脱塩処理 | (c)樹脂含浸強化 |
| 4. (a)曝露試験 | (b)引っ張り強度 | (c)接触角 |
| 5. (a)にかわ | (b)楮 | (c)古糊 |

問 2 1～5 の各項目について、(a)～(c)の 3 つの言葉を組み合わせて、文章を作れ（100 字程度）。

- | | | |
|---------------|-----------|-----------|
| 1. (a)化学吸着 | (b)物理吸着 | (c)親和性 |
| 2. (a)文化遺産 | (b)自然遺産 | (c)複合遺産 |
| 3. (a)古社寺保存法 | (b)文化財保護法 | (c)重要文化財 |
| 4. (a)岡倉天心 | (b)フェノロサ | (c)東京美術学校 |
| 5. (a)法隆寺金堂壁画 | (b)火災 | (c)現状模写 |

問3 1～6の各項目のうち、2題を選び説明せよ。(300字程度)

1. ヴェニス憲章
2. 風化現象
3. 動態保存と静態保存
4. 曝涼
5. 鉄の腐食
6. 表色系